

## シリーズ【皆既日食】Vol.4 ～いよいよ皆既日食です～

### 身の回りの変化をからだ全体で感じてみよう

日食メガネを使う必要性は前回お話ししました。日食メガネでも連続して長時間太陽を見ることは目のために控えてください。

日食は、2時間以上続きます。見る視点を変えたり、五感を使ってからだ全体で感じたりすることで、日食をより深く味わうことができるでしょう。

#### 1. 木もれ日に注目！

ピンホールカメラの原理で、小さな穴を通ってきた日光は太陽の形をそのまま映し出します。日食中に森の中にいると、地面の上に三日月の木もれ日を観測することができます。

#### 2. シャドーバンド

地面や白い壁にゆらゆらと細かいなみもようが見られることがあります。皆既日食の直前・直後に現れる珍しい現象です。

#### 3. 鳥や虫の鳴き声、身近な動物たちの行動にも注目！！

森の中にいるときは、セミや鳥の鳴き声に注意してください。家で飼っている犬やネコたちは、どんな行動をするのでしょうか？ちょっと興味がありますね。

#### 4. 目をつぶって、身の回りの空気（温度、風）の変化を体感しましょう。

### 安全に気をつけよう

日食に夢中になると、周囲が見えなくなり思わぬ事故に合う可能性があります。観察活動は、観察指定場所や広場・学校のグラウンド等で行いましょう。また、交通事故等をさけるためにも、皆既日食前後の車の運転は控える方が良いでしょう。


最後に、もう一度次のことに気を付けてください。

**肉眼で直接太陽を見たり、望遠鏡や双眼鏡、カメラを通して太陽を見たり絶対にしないこと。**

7月22日が、すばらしい思い出となりますように、みなさんのご協力をお願いします。

なお、3年後の2012年5月21日、鹿児島県(屋久島を含む)から関東にかけての太平洋側の広いエリアで「金環日食」が観察されます。その時まで、日食観察メガネは大切に持っておいて下さい。

解説：平山 英俊 Hidetoshi Hirayama  
屋久島環境文化研修センター研修課長。天体をこよなく愛し、星空観察等で繊細かつ熱い想いの伝わるレクチャーが人気。



小瀬田中学校


### 書道教室書道展

開催日：7月27日(月)～8月7日(金)  
開催場所：屋久島環境文化村センター交流ホール  
展示内容：書道作品  
(条幅作品、書道教室生徒作品)

### 「宝の島・屋久島」からのメッセージ

開催日：7月18日(土)～7月23日(木)  
開催場所：屋久島環境文化村センターレクチャー室・交流ホール内  
内容：島のアーティスト紹介・26年タイムカプセル・拓本体験コーナー  
知床流氷展示(21日のみ)  
主催：屋久島想像会

～財団職員が、それぞれの想う「屋久島」を語るコーナー～  
連載【屋久島を想う】51  
『屋久島の山々を見て』



研修センター勤務：恒松 友和

11年間の教員生活から離れて3ヶ月となりました。屋久島の大自然に圧倒されながらも、家族みんながすでに屋久島を大好きになっています。仕事の方は、一人前にはほど遠く、みんなに助けられている状態です……。大自然に圧倒されるばかりでなく、一人でも多くの方にこのすばらしさを伝えられるようになりたいと思います。そして、いつか家族全員で登山ができたらいいなあーと屋久島の山々を見るたびに思う毎日です。

### 屋久島フォトクラブ創立40周年記念写真展

開催日：8月9日(日)～8月21日(金)  
開催場所：屋久島環境文化村センター交流ホール  
展示内容：写真  
主催：屋久島フォトクラブ  
後援：財団法人 屋久島環境文化財団

### 今月のオススメBook 屋久島の作法

小野寺 浩 著 / 朝日新聞出版 / 単行本

「屋久島の作法」というタイトルに惹かれ手に取ってしまう本です。著者は、屋久島環境文化村構想の策定に大きく携わった環境省のOBです。著者が知見や社会政策的見解を述べながら、屋久島を含めた全国27ヶ所を紹介しているのですが、読むにつれ本に登場する環境遺産を「訪れたくなる」気持ちにさせる不思議な一冊です。

この本は、村センターで購入できます。

### 屋久島環境文化村中核施設休館日のお知らせ

【文化村センター・研修センター共通】  
夏休み期間(7/20～8/31)は毎日閉館します。